M（1931）

M
M - EINE STADT SUCHT EINEN MORDER［独］

メディア　映画
ジャンル　犯罪　サスペンス
製作国　ドイツ
色彩　B&W
時間　99分
初公開日　1932/04
公開情報　劇場公開
リバイバル　1994/12［ケイブルホーグ］

【解説】
　１９２０年代、ドイツを震撼させた連続殺人鬼“デュッセルドルフの吸血鬼”ことペーター・キュルテンに材を採ったＦ・ラング初のトーキー作品。
　幼い少女が次々と惨殺される事件が発生。警察当局の懸命な捜査にも関わらず犯人の見当は全くつかず、やがて暗黒街にまで捜査の輪は広げられる。これを機に暗黒街の面々は独自で犯人探しを開始、浮浪者や娼婦まで動員し憎き少女殺しを追い求める。やがて盲目の老人の証言が有力な手掛かりとなって遂に一人の男に照準が絞られた。浮浪者の機転によって背中に白いチョークで“M”の刻印を捺された男は、暗黒街と浮浪者たちから徹底的に追い詰められ捕らえられてしまう。地下室で人民裁判が開かれ、民衆は男の処刑を声高に要求するのだった……。
　光と影を効果的に使い、犯人の恐怖感や民衆の狂気を巧みに描き出しているＦ・ラングだが、その本当の狙いは、“殺人者は我々の中にいる”という、この映画の持っていたもうひとつのタイトルにある。“M”となる可能性、“M”を目の前にして暴徒と化す民衆、理屈では説明できない人間の殺人衝動の恐怖こそ、この映画の最大のポイントであった。後にハリウッドへ渡り個性的バイプレイヤーとして活躍するＰ・ローレの、いつもおびえた表情にもそれは隠されている。

【クレジット】

監督	フリッツ・ラング	Fritz Lang
原作	エゴン・ヤコブソン	Egon Jacobson
脚本	テア・フォン・ハルボウ	Thea von Harbou
	フリッツ・ラング	Fritz Lang
撮影	フリッツ・アルノ・ヴァグナー	Fritz Arno Wagner
出演	ペーター・ローレ	Peter Lorre
	オットー・ベルニッケ	
	グスタフ・グリュントゲンス	Gustaf Grundgens
	エレン・ウィドマン	Ellen Widmann
	インゲ・ランドグット	Inge Landgut
	フリッツ・グノス	Fritz Gnoss

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.